

設計標準使用期間の算定の根拠

※特定保守製品以外の家庭用屋外式ガス機器の場合は、「設計上の標準使用期間」

ガスふろ給湯器、ガス給湯器、ガスふろがま、ガス給湯暖房熱源機、ガス暖房専用熱源機の設計標準使用期間は、製造年月を開始時期とし、給湯部分については、JIS S 2071「家庭用ガス温水機器・石油温水機器の標準使用条件及び標準加速モード並びにその試験条件」の「6標準加速モード」に、ふろ部分については、JIS S 2072「家庭用ガスふろがま・石油ふろがまの標準使用条件、標準加速モード及び試験条件」の「4ふろがまの標準使用条件」に、温水暖房部分については、JIS S 2074「家庭用ガス温水熱源機の標準使用条件、標準加速モード及び試験条件」の「4ガス温水熱源機の標準使用条件」に、それぞれ従って以下の標準使用条件を想定して耐久試験を行い、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終了時期として設定しています。

設計標準使用期間は10年（業務用の屋内式は3年）と算出しており、適切な点検を行わずにこの期間を超えて使用すると経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

下記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境（高温・多湿・寒冷地・海岸近辺（塩害地域）・高地（海拔1000m以上）・温泉水・井戸水・地下水使用など）などで使用すると、設計標準使用期間より早く経年劣化を起こし、重大事故となるおそれがありますので、機器に表示している点検期間よりも早い点検が必要となりますのでご連絡をください。（ご不明点は、ガスター点検センターまでお問い合わせ下さい。）

給湯の標準使用条件

家族構成	4人世帯
用途	洗面・台所・湯はり・シャワー
季節	中間期（春・秋）
気温・湿度	20℃・65%
電源電圧・周波数	AC100V・50-60Hz
給水温度	15℃
出湯温度	40℃
1日使用量	456リットル
1日使用時間	1時間
1年使用日数	365日

ふろの標準使用条件

①給湯付きふろがま（自動保温付き）の場合

家族構成	4人世帯
用途	ふろの沸かし上げ・ふろの追いだき
季節	中間期（春・秋）
気温・湿度	20℃・65%
電源電圧・周波数	AC100V・50-60Hz
浴槽の水量	180リットル
ふろの沸かし上げ回数	1回／週
追いだき回数	5回／日
沸き上げ温度	40℃
1年使用日数	365日

②給湯付きふろがま（自動保温なし）の場合

家族構成	4人世帯
用途	ふろの沸かし上げ・ふろの追いだき
季節	中間期（春・秋）
気温・湿度	20℃・65%
電源電圧・周波数	AC100V・50-60Hz
浴槽の水量	180リットル
ふろの沸かし上げ回数	1回／週
追いだき回数	3回／日
沸き上げ温度	40℃
1年使用日数	365日

③おいだき専用ふろがまの場合

家族構成	4人世帯
用途	ふろの沸かし上げ・ふろの追いだき
季節	中間期（春・秋）
気温・湿度	20℃・65%
電源電圧・周波数	AC100V・50-60Hz
浴槽の水量	180リットル
ふろの沸かし上げ回数	1回／日
追いだき回数	3回／日
沸き上げ温度	40℃
1年使用日数	365日

温水暖房・乾燥・ミストサウナの標準使用条件

家族構成	4人世帯	
用途	床暖房・脱衣室洗面室暖房・浴室暖房	浴室乾燥・浴室衣類乾・ミストサウナ
使用期間	冬季 116日（11月17日～3月12日）	365日（1日/週）
温水温度	60℃・80℃	
熱源機運転時間	年間1036時間	
年間燃焼時間	年間775時間	

給湯の標準使用条件（業務用給湯器の場合）

①給湯継続時間が短く、繰り返し回数が多い場合

用途	給湯
季節	中間期（春・秋）
気温・湿度	20℃・65%
電源電圧・周波数	AC100V・50-60Hz
給水温度	15℃
出湯温度	60℃
使用サイクル	1分給湯・1分停止
1日使用回数	300回
1日使用時間	5時間
1年使用日数	365日

②給湯継続時間が長く、繰り返し回数が少ない場合

用途	給湯
季節	中間期（春・秋）
気温・湿度	20℃・65%
電源電圧・周波数	AC100V・50-60Hz
給水温度	24℃
出湯温度	37℃
使用サイクル	20分給湯・5分停止
1日使用回数	12回
1日使用時間	4時間
1年使用日数	365日